

2025 年 12 月 1 日

各位

会社名 株式会社倉元製作所
代表者名 代表取締役社長 渡邊敏行
(コード番号 5216 東京証券取引所スタンダード)
問合せ先 取締役 小峰 衛
電話番号 0228-32-5111

清掃ロボット事業における協業状況（展示会出展報告及び今後の事業方針）に関するお知らせ

当社は、2024 年 11 月 1 日より完全子会社化した株式会社アイウィズロボティクス（以下「IWR」）を通じて、AI・IoT 技術を活用した業務用清掃ロボット事業を展開しております。2025 年 11 月 19 日～21 日に開催された「ビルメン・ヒューマンフェア&クリーン EXPO2025」での活動状況と事業進捗について、以下のとおりお知らせいたします。

【開示の趣旨】

当社は 2024 年 11 月に IWR を完全子会社化して以降、株主・投資家の皆様から清掃ロボット事業の進捗状況に関するお問い合わせをいただいております。今般の国内最大級のビルメンテナンス専門展示会への出展を機に、協業の進捗状況を体系的にご報告いたします。

本開示は、東京証券取引所の適時開示規則に基づく開示義務が発生するものではありませんが、株主・投資家の皆様への情報提供の透明性を高め、当社グループの新規事業への取り組みについてご理解を深めていただくことを目的として、任意に開示するものです。なお、本件が直ちに当社の連結業績に重要な影響を与えるものではないことを申し添えます。以下に本開示の位置づけを明確にいたします。

【本開示の位置付け】

- 本件は東京証券取引所所有価証券上場規程に定める適時開示基準には該当いたしません。
- 既に開示済みの協業に関する進捗報告として、情報提供の透明性向上の観点から任意で開示するものです。
- 現時点で当社の業績予想に重要な影響を与えるものではありません。

【将来予測に関する注意事項】

本資料に記載された市場環境や事業展開の方向性は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の見解を示すものであり、将来の業績を保証するものではありません。実際の結果は、市場環境、技術動向、競合状況、顧客ニーズの変化等の様々な要因により、本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

業績予想への影響が明確になった段階、または重要な契約締結等の事象が発生した場合には、東京証券取引所規則に基づき別途適時開示を行います。

第 1 章：協業の経緯と進捗状況

1-1. 既開示事項の振り返り

当社は、当社の主力事業である液晶パネル向けガラス基板加工事業の市場縮小に対応し、新規事業領域への進出を図るため、2024 年 9 月 2 日付開示資料「株式交換による株式会社アイウイズロボティクスの子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ」の通り 2024 年 11 月 1 日に当社は株式交換により IWR を完全子会社化してロボット事業を開始しました。その後、2025 年 6 月 23 日付 P R 情報「販促機能を搭載した室内業務用清掃ロボット大手コンビニエンスストア『ファミリーマート』への導入台数が累計 1100 店舗となる見込み」、2025 年 6 月 30 日付 P R 情報「販促機能を搭載した室内業務用清掃ロボット『ローソン』へ第 1 号機導入のお知らせ」及び、2025 年 9 月 30 日付 P R 情報「AI を活用した全自動お掃除ロボットのクリーンルーム向け実証試験の実施と販売開始のお知らせ」の通り、着実に実績を積み重ねてまいりました。

1-2. 展示会出展の報告

展示会概要

本展示会は、ビルメンテナンス業界における国内最大級の専門展示会として、清掃機器・設備の最新技術や製品が一堂に会する重要なビジネスマッチングの場となっております。当社グループは、AI・IoT 技術を活用した清掃ロボットの認知度向上と新規顧客開拓を目的として出展いたしました。会期中は多数の業界関係者が来場され、当社製品への関心の高さを確認することができました。

- **名称:** ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO2025
- **会期:** 2025 年 11 月 19 日（水）～21 日（金）
- **会場:** 東京ビッグサイト 西展示棟 3・4 ホール
- **主催:** 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般財団法人日本能率協会
- **出展ブース:** 3-Q08

出展内容

当社グループの出展ブースでは、実機によるデモンストレーションを中心に、来場者の皆様に清掃ロボットの性能と利便性を直接体験していただく機会を提供いたしました。展示製品は、小規模店舗向けから大規模施設向けまで幅広いラインナップを揃え、さまざまな清掃ニーズに対応できることをアピールいたしました。特に、トイレ清掃ロボットは多くの注目を集め、労働環境改善への貢献可能性について高い評価をいただきました。

トイレ清掃ロボット T1

2026 年 6 月量産開始予定のトイレ清掃ロボットは、3K（きつい・汚い・危険）労働からの解放を実現する革新的製品として、会場で大きな注目を集めました。

主力製品一覧

1. **J30S:** セルフクリーニング搭載モデル（大手コンビニエンスストア 1100 台以上導入実績）、販促機能付き（業界初）
2. **J30 Pro:** 高性能小型モデル（欠品検知機能付き）
J35: エレベーター連携対応モデル（20kPa 強力吸引、クラス 10000 クリーンルーム実証済み）
3. **J35 Pro:** 最上位モデル（50,000 m³対応、移動式自動給排水システム搭載）

🏆 J30S - 販売実績No.1



- 導入実績: 1000台以上
- 大手コンビニチェーン採用
- セルフクリーニング機能搭載
- 販促機能付き（業界初）

💎 J35 PRO - 最高峰モデル



- 50,000mi対応（業界最大）
- エレベーター・ドア連携対応
- 吸塵・床洗浄の同時使用可能
- 自動給排水システム搭載

新製品

1. **Dreame L10s Plus:** DREAME 社と API 連携済み小型ロボット
2. **トイレ清掃ロボット:** 2026 年 6 月量産開始

1-3. 来場者の反響と商談状況

3 日間の展示会期間中、当社ブースには多数のビルメンテナンス関係者、施設管理者、清掃業界関係者が来場されました。特にトイレ清掃ロボットへの関心が高く、多くの引き合いをいただくことができました。また、エレベーター連携機能を有する J35 シリーズについては、複数フロアの自動清掃を可能にする点が高く評価されました。

展示会成果（3 日間）：

- 来場者数：約 1,500 名
- 名刺交換：500 枚以上
- 商談件数：約 100 件
- デモ依頼：20 件以上

具体的な商談状況としては、複数のビルメンテナンス会社から導入検討のご相談をいただいております。また、デモ機の貸出要請も複数件受けております。今後、これらの商談を着実に進めてまいります。

第 2 章：事業概要と今後の方針

2-1. 製品・サービスの特徴

技術的優位性

当社グループの清掃ロボットは、最先端の AI 技術と IoT 技術を融合させることで、従来の清掃機器では実現できなかった高度な自動化を実現しております。特に、独自開発のナビゲーションシステムは、複雑な店舗レイアウトやオフィス環境においても効率的な清掃経路を自動生成し、人手による清掃と同等以上の清掃品質を提供することが可能です。

5つの技術的優位性：

1. **AI・IoT 融合技術:** 高精度ナビゲーションと障害物回避
2. **エレベーター連携:** 国内大手ビルメンテナンス会社へ導入済み
3. **セルフクリーニング機能:** メンテナンスコストの削減
4. **販促機能搭載:** 清掃と商品陳列・広告配信の一石二鳥（J30S）
5. **クリーンルーム対応:** クラス 10000 対応（J35 & J35 Pro）

導入実績

当社グループの清掃ロボットは、2023 年 6 月の市場投入以来、着実に導入実績を積み重ねてまいりました。特に大手コンビニエンスストアチェーンにおいて 1100 台以上の大量導入を実現したことは、当社製品の信頼性と実用性が市場で高く評価された証左であると考えております。

- コンビニ・ドラッグストア・オフィス：1550 台
- ビルメンテナンス：75 台
- 遊技場：61 台
- 累計：1686 台（2025 年 11 月時点）

2-2. 対象市場の概況（参考情報）

ビルメンテナンス市場（※ 1）

日本のビルメンテナンス市場は、オフィスビルや商業施設の増加とともに安定的な成長を続けております。しかしながら、業界全体で深刻な人手不足に直面しており、特に清掃員の高齢化と若年層の就業敬遠により、人材確保が喫緊の課題となっております。

- 市場規模（2023 年）：3.9 兆円
- 清掃員不足：10 万人
- 清掃員平均年齢：60 歳

清掃ロボット市場（※ 2）

世界的に清掃ロボット市場は急速な成長を続けており、技術革新と労働力不足を背景に、今後も高い成長率が期待されています。

- 世界市場規模（2023 年）：45 億ドル
- 予測市場規模（2030 年）：120 億ドル
- 年平均成長率：15%

2-3. 事業推進方針

短期方針（2025 年度）

当社グループは、2025 年度を清掃ロボット事業の基盤強化期と位置づけ、展示会で得られた商談機会を確実に成約に結びつけるとともに、新製品の市場投入を通じて事業規模の拡大を図ってまいります。

2026 年度重点施策：

1. トイレ清掃ロボットの量産開始（2026 年 6 月予定）
2. 展示会経由の商談フォローアップ強化
3. デモ機貸出による導入促進
4. 既存顧客への追加導入提案

中長期方針（2026 年度以降）

中長期的には、清掃ロボット事業を当社グループの中核事業の一つに育成することを目指し、市場領域の拡大と技術革新を両輪として事業成長を加速させてまいります。

- **産業用クリーンルーム市場への本格参入：** 半導体・精密電子部品工場、食品・医薬品工場への展開
- **代理店ネットワークの構築：** 全国展開の加速、メンテナンス体制の強化
- **新機能開発：** AI カメラ搭載による付加価値向上、異物検知・監視機能の追加

2-4. 想定されるリスク

清掃ロボット事業の展開にあたっては、さまざまなリスク要因が存在することを認識しております。当社グループでは、これらのリスクを適切に管理し、持続的な事業成長を実現するため、以下のリスク要因を認識し、それぞれに対する対応策を講じております。

リスク要因：

- 景気後退による設備投資減少
- 競合他社の参入増加
- 技術の急速な陳腐化
- サイバーセキュリティ脅威

対応策：

- 継続的な技術開発投資
- カスタマイズによる差別化
- アフターサービス強化
- 親会社ノウハウ活用

2-5. 業績予想への影響と今後の開示方針

現時点での業績への影響：

本展示会出展及び商談状況は、現時点において当社の 2025 年 12 月期業績予想に重要な影響を与えるものではありません。しかしながら、清掃ロボット事業は当社の中長期的な成長戦略において重要な位置を占めており、今後の事業拡大に寄与するものと期待しております。

今後の適時開示基準：

以下のいずれかに該当する場合、速やかに適時開示を行います：

- 大口受注契約の締結（連結売上高の 10%以上）
- 重要な業務提携・技術提携の締結
- 新製品の開発成功で売上高への重要な影響が見込まれる場合
- 子会社の業績が当社連結業績に重要な影響を与える場合

結びに代えて

事業の社会的意義：

日本が直面する少子高齢化・労働力不足という構造的課題に対し、当社グループは AI・IoT 技術を活用した清掃ロボットの提供を通じて、社会課題の解決に貢献してまいります。特に、3K（きつい・汚い・危険）と言われる清掃業務の自動化は、働き方改革の推進と労働環境の改善に寄与するものと考えております。

不確実性の認識：

一方で、ロボット事業は技術革新が急速であり、市場環境の変化も激しい分野であることを認識しております。当社グループは、これらの不確実性を十分に理解した上で、慎重かつ積極的な事業運営を行ってまいります。

株主の皆様へ：

株主・投資家の皆様におかれましては、当社グループの新たな挑戦に対し、中長期的な視点でのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。今後も透明性の高い情報開示に努め、企業価値の向上に邁進してまいります。

【出典・参考文献】

※1 全国ビルメンテナンス協会「ビルメンテナンス情報年鑑 2024」（2024 年 3 月公表）

※2 Grand View Research「Commercial Cleaning Robot Market Size, Share & Trends Analysis Report」（2024 年 1 月公表）

【付録】協業先企業の概要

株式会社アイウィズロボティクス

株式会社アイウィズロボティクスは、AI・IoT 技術を活用した業務用清掃ロボットの開発・製造・販売を手がける当社の完全子会社です。同社は 2023 年の設立以来、日本市場のニーズに特化した製品開発を行い、短期間で約 1686 台の導入実績を達成するなど、急速な成長を遂げております。

項目	内容
設立年	2023 年 2 月 1 日
本社所在地	東京都品川区大井 1 丁目 47 番 1 号 NT ビル 12 階
資本金	6,486 万 8,413 円
事業内容	業務用掃除ロボット・サービスロボットの研究開発・販売・メンテナンス
親会社	株式会社倉元製作所（100%出資）
ウェブサイト	https://jp.iwith-smart.com/

主な実績：

- 2023 年 6 月より日本市場展開開始
- 累計 1686 台の導入実績
- 大手コンビニエンスストア 1100 台以上導入
- NTTe-City Labo、麻布大学等への納入

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社倉元製作所

経営企画部

担当：久保田 徹

TEL：022-232-5511

Email：to.kubota@kuramoto.co.jp

以上